

日ス振メ推第128号
令和3年2月19日

公益財団法人日本オリンピック委員会
JOC 加盟・承認競技団体 御中

独立行政法人日本スポーツ振興センター
ハイパフォーマンススポーツセンター長
勝田 隆
(公印省略)

スポーツ庁委託事業「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」
国際女性デーカンファレンス 2021 の開催について (案内)

平素から、独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下、「JSC」という。）の各種事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

この度、JSCでは標記カンファレンスを別添「開催要項」のとおり開催することとなりました。ついては、貴機関内での周知に御協力くださるようお願いいたします。

[本件に関する問合せ]

独立行政法人日本スポーツ振興センター
女性アスリートの育成・支援プロジェクト
松井・村上・高尾・新宮

E-mail: josei.shien@jpnnsport.go.jp

**「女性アスリートの育成・支援プロジェクト／国際女性デーカンファレンス 2021」
開催要項**

1. 趣旨

日本スポーツ振興センター（JSC）では、女性アスリートを取り巻く課題を研究者と参加者と共有すると共に、プロジェクトで得られた知見や方策を競技現場へ広く還元することを目的として、女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究に関するカンファレンスをオンラインで開催します。3月8日は世界が女性について考えようという、国際連合が定めた「国際女性デー」とされており、今年度のテーマを「リーダーシップを発揮する女性たち：コロナ禍の世界で平等な未来を実現する」と掲げております。

本カンファレンスにおきましては「コロナ禍、大学生アスリート、自立」をキーワードとして、今一度女性アスリートが抱える課題や求められている支援について考える機会を提供します。大学時代は自立が求められ、心身共に不安定な時期を迎える場合もあります。一方、大学教員という研究者が身近に存在しており、4年間をかけて競技生活と学問を両立することで視野を広げ、スポーツ界や社会を俯瞰的に捉えて行動できる女性アスリートを育成できる時期でもあります。

女性アスリートには自分自身の心身を見つめ直すきっかけとなり、競技関係者等にはそのようなアスリートの気づきを促進し、支援する機会となれば幸いです。

2. テーマ：

スポーツにおける「個」・「孤」からの気づき～新型コロナ禍をきっかけに～

3. 主催：

独立行政法人日本スポーツ振興センター

4. 実施日：

令和3年3月8日（月）13時～16時

5. 場所：

オンラインによる開催（参加費無料）

6. 対象：

アスリート、指導者、競技団体関係者、女性アスリートの育成・支援に関心のある者
500名

7. 発表内容及び方法：

(1) 【基調講演】「個」「孤」と群

土肥美智子（HPSC スポーツメディカルセンター 副主任研究員）

(2) 【カンファレンス1】「個」への気づきを促すアプローチ

土肥美智子（HPSC スポーツメディカルセンター 副主任研究員）

須永美歌子（日本体育大学 児童スポーツ教育学部 教授）

西澤 美春（日本体育大学 陸上競技部 女子駅伝ブロックコーチ）

米田 勝朗（名城大学 女子駅伝部 監督 / 法学部 教授）

(3) 【カンファレンス2】「孤」をつなぐ

松井 陽子 (HPSC ハイパフォーマンス戦略部 主任専門職)

江玉 睦明 (新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 教授)

本田 優季 (新潟医療福祉大学 女子バレーボール部 主将)

(4) 【研究一覧 (オンライン展示)】

各団体の研究成果を特設ページで紹介します。

資料のダウンロードや、各団体の担当者とメッセージのやり取りもできます

(5) 【情報交換会】

研究者と参加者が直接質疑応答できる時間を設定 (Zoom のブレイクアウトルームを使用) します。

8. 申込方法 :

右記 QR コードまたは URL からお願いします。

申込みができない場合は、

下記連絡先までお問合せください。

9. 連絡先:

スポーツ庁委託事業

「女性アスリートの育成・支援プロジェクト」

松井・村上・高尾・新宮

Email: josei.shien@jpnспорт.go.jp

申込はこちらから



[https://www.jpnsport.go.jp/jiss/
tabid/1308/Default.aspx](https://www.jpnsport.go.jp/jiss/tabid/1308/Default.aspx)

【参考】*国際女性デー:

1904年3月8日にアメリカで女性労働者が婦人参政権を求めてデモを起こしたきっかけで、1910年にコペンハーゲンで行われた国際社会主義会議で「女性の政治的自由と平等のために戦う日」と提唱したことから、同年「国際女性デー」と制定されました。ヨーロッパでは愛と幸福の象徴、ミモザの花を贈る日でもあります。